

北海道の名付け親・ 松浦武四郎の軌跡

～その先の道へ。北海道～

2018年、北海道は命名150年の節目を迎えます。

2016年11月1日(火)～11月30日(水)

後援：北海道・北海道博物館・(公社)北海道アイヌ協会・松阪市・松浦武四郎記念館



松浦 武四郎

1818(文化15)年に伊勢国須川村(現在の三重県松阪市小野江町)の生まれ。武四郎は、26歳の時にロシアが蝦夷地への進出を狙っているという噂を耳にし、当時まだあまり知られていなかった蝦夷地の様子を人々に知らせようと踏査を決意。蝦夷地の踏査は、28歳から41歳までの間に6回行われ、地形、地名、自然の様子などを詳細に記録した内容は、151冊の報告書(紀行文)にまとめられました。踏査で案内をしてくれたアイヌ民族の人々とも交流を深めています。アイヌ語を学び、人々の暮らしよりも詳細に記録した武四郎。武四郎が残したそれらの記録は、当時の北海道の様子を今に伝える貴重な史料になっています。また、アイヌの古来から「カイ」というアイヌ語には「この地で生まれた者」という意味があるという話を聞いたことをもとに、蝦夷地への新たな名称の一つとして「北加伊道」を提案したことで知られています。

現在の札幌付近の地図 安政6年(1859)刊「東西蝦夷山川地理取調図」巻10(部分)北海道博物館所蔵

センチュリーロイヤルホテルでは、北海道の名付け親で幕末から明治の探検家松浦武四郎をテーマにした特別ランチのご提供とロビー展を開催いたします。

江戸時代、六回にわたって蝦夷地を踏査し、維新後、一八六九年には蝦夷地に代わる新しい名称として「北加伊道」を提案し、「北海道の名付け親」とも言われる松浦武四郎とアイヌ民族との交流をイメージした特別ランチとロビーキーパケッソンである松浦武四郎の軌跡と偉業をご紹介します。

同時開催

北海道の名付け親
松浦武四郎 ロビー展

入場
無料

特別協力：北海道博物館

期間：2016年11月1日(火)～11月20日(日)

場所：2階ロビー

【展示内容】

- ・松浦武四郎の生涯 紹介パネル
- ・武四郎とアイヌ民族 紹介パネル
- ・北海道国郡検討図(レプリカ)他

『近世蝦夷人物志』初編 下(部分)
(松浦武四郎記念館所蔵)



このたび、北海道の名付け親・松浦武四郎とアイヌ民族の人々との交流をテーマにした特別ランチを企画いたしました。ブクサ(行者にんにく)や鮭、鹿肉など武四郎が踏査した北海道ならではの食材とアイヌの伝統的な食文化を融和し、現代風にアレンジいたしました。ランチの名称「大地の味」は、(公社)北海道アイヌ協会 加藤理事長に命名いただきました。

是非ご賞味いただき、武四郎の軌跡とアイヌの文化の素晴らしさに思いを馳せるひとときとなれば幸いです。



日本料理 北乃路
調理長 熊谷 鉄之



武四郎が歩いた道内各地の食材と
先人の食文化を融和した歴史ランチ。

ランチ

北海道150年事業応援企画特別メニュー

八菜二段重「大地の味」

おひとり様 3,500円[3,780円(税込)]

ご利用期間 2016年11月1日(火)～11月30日(水)

- 鮭冬葉の雲丹味噌和え
- ニセコ男爵芋のサラダ いくら添え 黒曜石見立ての醤油ジュレ
- 北海道産鰯のお造り 妻物
- 茄子とスモークサーモンのサラダ 晴れ着仕立て
- 鹿肉ロースの味噌漬 黄味卸し
- 茶碗蒸し 北海道地団昆布を添えて
- 蕎麦粉のパンのピザ ブクサ(行者にんにく)味噌のチーズ焼き
- 南瓜・栗・帆立の春巻き 揚げソーメン
- 鮭・いくらご飯 北海道見立て
- オハウ北乃路スタイル
- 抹茶アイス最中

全11品